

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

文部科学省情報

■令和7年度「こども霞が関見学デー」

文部科学省や各府省庁等が連携し、子供たちに、政府の施策に対する理解を深めてもらうこと等を目的に、標記見学デーを実施する。

<日程>令和7年8月6日(水)・7日(木)

<内容>各府省庁等の特色を生かし、子供たちを対象に、広く社会を知るさまざまなプログラムを設け、一斉に「こども霞が関見学デー」として実施。

<問い合わせ先>文部科学省総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室

TEL 03-5253-4111 (代表)

■「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』

文部科学省では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図る授業づくりの基本的な考え方を示した基本編、授業づくりの具体的な取組を紹介した実践編で構成された参考資料を発行。本資料は、オンラインマガジン「文部科学省 授業づくりnote」に公開されており、実践の動画も視聴できる。詳細は、<https://mext-curriculum-gov.note.jp/m/3b4a6bc792d6>にアクセスのこと。

<問い合わせ先>文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画 MAIL kyokyo@mext.go.jp

AV情報

■CRIC「5分でできる著作権教育」の改訂

(公社)著作権情報センター(CRIC)は、著作権教育の事例を集めたコンテンツ「5分でできる

著作権教育」を全面改訂。新しくなった「5分でできる著作権教育 2.0-デジタルネイティブ世代と学ぶ-」では、児童生徒の日常生活のさまざまな場面に注目し、作品や作者に敬意を払うことの大切さを考えるきっかけとなるような事例を紹介。詳細はhttps://www.cric.or.jp/index_doc/202503_5fun_Renewal.pdfを参照のこと。

<問い合わせ先>(公社)著作権情報センター業務部 TEL 03-5309-2421 (代表)

■ONKANフェア2025「児童生徒も、先生も、楽しい!おもしろい!音楽鑑賞の授業」

(公財)音楽鑑賞振興財団では、標記フェアを開催する。

<日時>令和7年6月14日(土)13:30~16:00

<会場>きゅりあん小ホール(品川区立総合区民会館)(東京都品川区東大井5-18-1)

<対象>小学校から大学までの教員、教員を目指す大学生、大学院生。

<内容>講師による鑑賞の授業づくり講座、音楽事業インフォメーション。入場無料、要事前登録。

<問い合わせ先>(公財)音楽鑑賞振興財団

TEL 03-5717-6885

■国立情報学研究所「学術情報基盤オープンフォーラム」[オープンハウス2025]

国立情報学研究所では、標記2つのイベントを開催する。会場は、ともに、学術総合センター1・2階 一橋講堂他(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)、一部のプログラムはオンライン中継あり。

○「学術情報基盤オープンフォーラム」

「対話で進化する学術研究プラットフォーム」をテーマにフォーラムを開催する。

<日時>令和7年6月16日(月)~18日(水) 10:00~18:00 ※16日は、11:00~

<内容>研究データ管理体制構築と学内展開、学認LMSの実践事例とデータ活用最前線等。要事前申込。

<問い合わせ先>国立情報学研究所学術基盤推進部学術基盤課フォーラム担当

Mail openforum[at]nii.ac.jp ※[at]を@に置換。

○「オープンハウス2025」

研究成果発表や研究所を一般に公開する。

<日時>令和7年6月20日(金) 11:00~20:00

<内容>NII活動報告・基調講演・対談、産官学連携セミナー、総合研究大学院大学情報学コース大学院説明会、NII研究100連発、デモ・ポスターセッション等。参加費無料。要事前申込。

<問い合わせ先>オープンハウス実行委員会事務局 MAIL oh[at]nii.ac.jp ※[at]を@に置換。

■情報通信研究機構「NICTオープンハウス2025」

国立研究開発法人情報通信研究機構では、標記イベントをリアルとオンライン配信にて開催する。

<日時>令和7年6月20日(金) 9:30~16:30(ビジネス向)、6月21日(土) 10:00~16:30(学生・一般向) ※小学生以上対象。

<会場>情報通信研究機構本部(東京都小金井市貫井北町4-2-1)

<内容>(ビジネス向)基調講演・特別講演、研究者によるプレゼンテーション、(学生・一般向)NICT探検ツアー、学生によるポスターセッション、南極ゆうびん・南極コーナー、両日ともに、約90の技術展示等。参加費無料、事前申込制。オンライン配信は事前申込不要。

<問い合わせ先>情報通信研究機構

MAIL open-house-2025@ml.nict.go.jp

■OTOTEN2025

(一社)日本オーディオ協会では、標記のオーディオの展示会を開催する。

<日時>令和7年6月21日(土)・22日(日) 10:00~19:00、22日は、17:00まで。

<会場>東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内3-5-1)

<内容>オーディオ、ホームシアターに関する展示、セミナー等。入場無料。要事前登録。

<問い合わせ先>「OTOTEN2025」事務局

MAIL audiofair@jas-audio.or.jp

■XR・メタバース総合展

RX Japan(株)主催により、標記展示会が開催される。

<日程>令和7年7月2日(水)~4日(金)

<会場>東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

<内容>XR、メタバースを活用するサービス・技術等の展示等。入場無料。要事前登録。

<問い合わせ先>RX Japan(株)XR・メタバース総合展 MAIL xr-expo.jp@rxglobal.com

コンクール・研究助成情報

■「第56回博報賞」教育実践募集開始

(公財)博報堂教育財団では、児童教育現場の活性化と支援を目的に教育実践を顕彰しており、その対象となる活動を募集している。

<活動領域>「国語・日本語・ことばの育成に関わる教育実践」と、「特別な配慮や多様なニーズのある子どものコミュニケーション活動を支援する教育実践」を軸に幅広い領域を対象とする。

<応募者>応募には、推薦資格を有する第三者の推薦が必要。日本国内での活動であり、日本在住の子どもを対象とした活動。

<賞>文部科学大臣賞(博報賞の中で特に優れた活動)、博報賞 副賞100万円他。

<締切>令和7年6月25日(水)

<問い合わせ先>(公財)博報堂教育財団博報賞担当 TEL 03-6206-6266(平日9:30~17:30)

■「MPTE AWARDS 2025 第43回青い翼大賞」作品募集

(一社)日本映画テレビ技術協会による学生作品の技術賞「青い翼大賞」では、作品を募集している。

<募集作品・対象>撮影・照明技術は90分以内の実写作品。日本国内の大学院・大学・専門学校在学時に制作した作品であること。制作期間は、令和6年4月~令和7年3月に限る。在校生及び令和6年度卒業生。ジャンルは問わない。

<締切>令和7年7月1日(火)

<問い合わせ先>(一社)日本映画テレビ技術協

会事務局 TEL 03-5255-6201

■「地方の時代」映像祭2025年度作品募集

吹田市、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟主催による標記映像祭では、作品を募集している。

<部門>市民・学生・自治体部門、高校生（中学生）部門。

<募集作品>市民・学生・自治体部門は、地域の文化や地域の課題等をテーマとした映像作品で、令和6年7月1日～令和7年6月30日までに制作された作品。高校生（中学生）部門は、高校生、中学生の視点で「学校生活」や「地域」、「時代」をとらえた映像作品で、令和5年8月1日～令和7年7月31日までに制作された作品。両部門ともに、60分以内の収録を目途とし、放送もしくは発表の実績の有無は問わない。参加料無料。

<賞>全作品の中から1点をグランプリ（賞金100万円）、部門ごとに、優秀賞、選奨等。

<締切>市民・学生・自治体部門 令和7年6月30日（月）、高校生（中学生）部門 令和7年8月8日（金）消印有効。

<問い合わせ先>「地方の時代」映像祭実行委員会事務局 TEL 06-4256-8485

学会情報

■AI時代の教育学会2025年度第1回研究会

AI時代の教育学会では、「教師と学習者～AI時代に望まれる関係性とは～」をテーマに標記研究会をオンラインにて開催する。

<日時>令和7年6月21日（土）13:30～16:40（終了予定）

<内容>シンポジウム、分科会等。参加費無料。

<問い合わせ先>（公財）学習情報研究センター内 AI時代の教育学会事務局

MAIL gjk@gakujoken.or.jp

■教育システム情報学会（JSiSE）2025年度第2回研究会

教育システム情報学会では、「ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般」をテーマに標記研究会を開催する。

<日程>令和7年7月6日（日）

<会場>札幌市社会福祉総合センター（札幌市中

央区大通西19-1-1）

<内容>教育現場で蓄積されるデータの分析・活用を通じて行われる教育改善、生成AI技術の教育分野での活用に関する研究等。研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000円／年）または研究報告の購入（1,000円）が必要。

<問い合わせ先>北星学園大学 金子

MAIL kenkyuu-2nd-ml[at]jsise.org

※[at]を半角「@」に変換。

各地の情報

■第10回関西放送機器展

関西放送機器展実行委員会は、標記展示会を開催する。

<日時>令和7年7月2日（水）・3日（木）10:00～17:00

<会場>大阪南港ATCホール（大阪市住之江区南港北2-1-10）

<内容>放送機器及び関連機器全般の展示他。入場無料。要事前登録。

<問い合わせ先>関西放送機器展事務局（株）テレビ大阪エクスプロ TEL 06-6944-9919

文部科学省選定作品

■4月選定 紙しばい DVD

「つきよの ティラノサウルス」紙12枚<幼稚園／小学校低学年／幼児・小学校（教養）>（株）童心社

「わにさんと くませんせい」紙8枚<幼稚園／幼児（教養）>（株）童心社

「デリカド」DVD98分<青年・成人、国民生活（環境・資源・エネルギー）>ユナイテッドピープル（株）

「水と砂糖とパイワン族と 台湾南部を実り豊かな農地に変えた鳥居信平の物語」DVD42分<青年・成人、教養>（一財）さわかみ財団

※今年度より利用対象の「少年向き」区分が「小学校児童向き・中学校生徒向き・高等学校生徒向き」に細分化された。

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。



国立映画アーカイブ コンテンツ紹介2

「はじまりの日本劇映画 映画 meets 新派・新劇・新国劇」

国立アーカイブ客員研究員 濱田尚孝

本サイトは国立映画アーカイブ (NFAJ) では6番目となる最新の配信サイトで、2025年3月28日に開設した。前回紹介した「フィルムは記録する—国立映画アーカイブ歴史映像ポータル—」は文化・記録映画が中心だが、本サイトでは1920年代前半に製作された日本の劇映画を公開している。内容は、9本の劇映画(短縮版や断片を含む)が視聴可能な「映画をみる」、演劇専門の識者3氏の論考からなる「深く知る」、そしてNFAJ所蔵の映画資料を紹介する「資料を見る」を中心に構成されている。

「劇映画」はどのような歴史を持っているのだろうか。19世紀末に映画という新しい発明が日本に伝わったのち、1900年代の後半から各都市に映画館が建てられ、同時期に最初の撮影所が建設された。劇映画の「劇」には長い伝統を持つ歌舞伎に加えて、明治時代に生まれた新派や新劇などの近代演劇も広まっていた当時の演劇状況が反映されており、新旧の演劇が人材・題材の両面で劇映画の成立に深くかかわった。本サイトは映画と近代演劇の「出会い」に着目したのである。

ところで、無声映画時代の日本の映画興行では「弁士」が重要な存在だった。1910年代の日本映画の上映では登場人物の台詞を複数の「声色弁士」が語り分け、特定のスター俳優を担当する弁士が人気者となったことで興行側が力を持ち、弁士が語りやすい、舞台をそのまま撮影しただけに見える映画が製作側に求められた。そうした状況に対し、欧米映画の表現技法に先進性を見出した観客層を中心に日本映画の革新を唱える声がかかるようになった。配信作品が作られた1920年代前半



『社会教育劇 街の子』(東京シネマ商会製作、畑中蓼坡監督、1924年)

は、その声が製作側に浸透していった日本映画の変革期であった。

作品を1本ご紹介しよう。『社会教育劇 ^{ちまた}街の子』(1924年)である。不良少年の更生を描いた社会教育映画で、前年の関東大震災の影響が登場人物の設定にも認められる。製作会社の東京シネマ商会は震災直後の状況を撮影したことで知られ、文部省など官公庁や各種団体からの撮影を受託する一方、劇映画を含む教育映画を自主製作し販売していた。

本作には大正後期に活動した劇団「新劇協会」がユニット参加した。アメリカで演劇を学んだ劇団創設者の畑中^{りょうは}蓼坡が監督し、所属俳優たちが主人公を含む子役たちをサポートした。少年の更生を助ける夫婦を演じたのは、平塚らいてうの夫で画家・工芸家としても知られる奥村博史と劇団の花形女優の伊澤^{らんじや}蘭香で、2人の姿を見られる今のところ唯一の現存作品である。100年の歳月を生き残った劇映画は、俳優たちの演技の「記録映画」でもあるのだと気付かされる。

教材は、下記URLにアクセスをください。

<https://eigameetsshinengeki.filmarchives.jp/>

■ イベント

2025（令和7）年度視聴覚教育関係行事予定（2025年5月20日現在）

一般財団法人日本視聴覚教育協会調べ

名 称	期 日	場 所	主 催 等
文化庁 令和7年度著作権セミナー	期日の詳細は文化庁HPを参照。		文化庁
教職員・情報通信技術支援員（ICT支援員）著作権講習会			
図書館等職員著作権実務講習会			
第29回視聴覚教育総合全国大会・ 第76回放送教育研究会全国大会合同大会	11月28・29日	28日授業公開 川崎市立西生田小学校（川崎市） 29日オンライン開催	視聴覚教育総合全国大会連絡協議会、全国放送教育研究会連盟、NHK
令和7年度（第71回）教育映像祭中央大会・表彰式 令和7年度（第51回）全国自作視聴覚教材コンクール表彰式・発表会	9月29日	霞が関プラザホール（東京都千代田区）	（一財）日本視聴覚教育協会
e スクールステップアップ・キャンプ	10月29・30日	カクイクス交流センター（かごしま県民交流センター）（鹿児島県鹿児島市）	（一財）日本視聴覚教育協会、 日本視聴覚教具連合会
第8回アワード・全国ICT教育首長サミット	令和8年2月3日	東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都港区）	全国ICT教育首長協議会
学視連ブロック大会			日本学校視聴覚教育連盟他
北海道	10月24日	旭川宝田学園わかば幼稚園（北海道旭川市）他	
関東甲信越	11月4日～14日 11月14日	オンデマンド配信 オンライン開催	
近畿	11月12日	奈良県立教育研究所（奈良県奈良市）他	
全放連ブロック大会			全国放送教育研究会連盟他
北海道	10月24日	旭川宝田学園わかば幼稚園（北海道旭川市）他	
東北	11月12日	にぎわい交流館AU（あう）（秋田県秋田市）	
関東甲信越	11月4日～14日 11月14日	オンデマンド配信 オンライン開催	
東海北陸	8月20日	オンライン開催	
近畿	11月12日	奈良県立教育研究所（奈良県奈良市）他	
中国	11月28日	ハイブリッド開催 配信会場 鳥取県鳥取市立若葉台小学校（鳥取県鳥取市）他	
九州	11月21日	熊本市国際交流会館ホール（熊本市）他	
民教協「ニホンのチカラ」全国・地区大会			（公財）民間放送教育協会、開催地民間放送局他
全国大会（大分放送主管）	11月1日	いいちこ総合文化センター（大分県大分市）	
北海道・東北・関東・甲信越地区（山梨放送主管）	9月27日	山梨文化会館山日YBSホール（山梨県山梨市）	
中部・北陸・関西・中国地区（北陸放送主管）	10月11日	北國新聞社赤羽ホール（石川県金沢市）	
四国・九州・沖縄地区（南海放送主管）	10月25日	南海放送本町会館テルスターホール（愛媛県松山市）	
日本教育情報学会 第41回年会	8月30・31日	大阪教育大学柏原キャンパス（大阪府柏原市）	日本教育情報学会
日本教育工学会 2025年秋季全国大会（第47回）	9月27・28日	ウインクあいち（名古屋市）	日本教育工学会
日本教育メディア学会第32回年次大会	11月1・2日	北海道教育大学函館校（北海道函館市）	日本教育メディア学会
第51回 全日本教育工学研究協議会全国大会（茨城つくば大会）	11月14・15日	つくば国際会議場（茨城県つくば市）	日本教育工学協会
Inter BEE2025	11月19～21日	幕張メッセ（千葉市）	（一社）電子情報技術産業協会

本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者にご確認ください。